様式第 10（第 7 条関係）

〈ＨＴＭＬ〉
〈ＨＥＡＤ〉〈ＴＩＴＬＥ〉石油需給適正化法第 6 条第 1 項前段〈／ＴＩＴＬＥ〉
〈／ＨＥＡＤ〉
〈ＢＯＤＹ〉〈ＰＲＥ〉
【書類名】石油輸入計画届出書
【提出日】
【あて先】経済産業大臣殿
【提出者情報】
　【住所】
　【氏名又は名称】
【適用条文】石油需給適正化法第 6 条第 1 項前段
【様式番号】002
【添付情報】
　【添付資料】
　　（原油輸入計画）
　　（原油の受払計画）
　　（石油製品輸入計画（保税輸入品を除く。））
　　（石油製品輸入計画（保税輸入品に限る。））
　　（石油製品（保税輸入品に限る。）の受払計画）
〈／ＰＲＥ〉〈／ＢＯＤＹ〉〈／ＨＴＭＬ〉

（備考）

1. 「【添付資料】」は、次に掲げる第 1 表の 1 から第 3 表の 2 までの様式によること。
2. その他は、様式第 9 の備考 1 から 5 までと同様とする。

第１表の１

原　油　輸　入　計　画

（　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで）

氏名又は名称

単位：キロリットル

油　　　　　名	供　給　者　名	輸　入　数　量	備　　　　　考

備考　1　油名の欄には、原油の名称を記録すること。

2　文字は日本産業規格 X0208 で定められている図形文字並びに X0211 で定められている制御文字のうち「復帰」及び「改行」を用いることとし、図は用いてはならない。

ただし、「【」（日本産業規格 X0208 区点番号（以下「区点番号」という。）1-58)、「】」（区点番号 1-59)、「▲」（区点番号 2-5）及び「▼」（区点番号 2-7）は用いてはならない（欄名の前後に「【」（区点番号 1-58）及び「】」（区点番号 1-59）を、又は置き換えた文字の前後に「▲」（区点番号 2-5）及び「▼」（区点番号 2-7）を用いるときを除く。)。

日本産業規格 X0208 で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、日本産業規格 X0208 で定められている漢字に置き換えて記録し、又はその読みを平仮名で記録し、それらの前に「▲」（区点番号 2-5)、後ろに「▼」（区点番号 2-7）を付すこと。

3　文字の符号化表現は、日本産業規格 X0208 附属書 1 で定められている方式を用いる。

4　本表に記録する数量は、日本産業規格 X0201 で定められている文字を用いること。

第 1 表の 2

原　油　の　受　払　計　画

（　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで）

氏名又は名称

単位：キロリットル

期初在庫数量	受入数量	処理数量	払出数量				期末在庫数量
			非精製用			その他	
			燃料用	その他	計		

備考　1　国産原油を受け入れる場合には、その受入数量の欄に※を付して外数で記載すること。

2　その他は、第 1 表の 1 の備考 2 から 4 までと同様とすること。

第２表

石油製品輸入計画（保税輸入品を除く。）

（　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで）

氏名又は名称

単位：キロリットル（石油ガスについては、トン）

油名	供給者名	輸入数量	備考
揮発油（ナフサを除く。）計	―――		
ナフサ計	―――		
ジェット燃料油計	―――		
灯油（ジエツト燃料油を除く。）計	―――		
軽油計	―――		
重油計	―――		
A重油計	―――		
B重油計	―――		
C重油計	―――		
石油製品（石油ガスを除く。）合計	―――		
石油ガス計	―――	（　　）	
		（　　）	
		（　　）	

備考　１　油名の欄には、産地を記録すること。

２　石油ガスの欄のかつこには、液体の容積に換算した数量を単位キロリットルで記録すること。

３　その他は、第１表の１の備考２から４までと同様とすること。

第３表の１

石油製品輸入計画（保税輸入品に限る。）

（　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで）

氏名又は名称

単位：キロリットル（石油ガスについては、トン）

油名	供給者名	輸入数量	備考
揮発油（ナフサを除く。）計	―――		
ナフサ計	―――		
ジェット燃料油計	―――		
灯油（ジェット燃料油を除く。）計	―――		
軽油計	―――		
重油計	―――		
A 重油計	―――		
B 重油計	―――		

	C　重　油　計		＿＿＿＿＿		
石油製品（石油ガスを除く。）合計			＿＿＿＿＿		
石　油　ガ　ス　計			＿＿＿＿＿	（　　）	
				（　　）	
				（　　）	

備考　1　本表は、外航船又は国際航空路に就航する航空機の用に供する保税輸入品について記録すること。

2　油名の欄には、産地を記録すること。

3　石油ガスの欄のかつこには、液体の容積に換算した数量を単位キロリットルで記録すること。

4　その他は、第１表の１の備考２から４までと同様とすること。

第３表の２

石油製品（保税輸入品に限る。）の受払計画

（　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで）

氏名又は名称

単位：キロリツトル（石油ガスについては、トン）

石油製品の種類		期初在庫数量	受入数量	払出数量	期末在庫数量
揮発油（ナフサを除く。）					
ナ　　フ　　サ					
ジェット燃料油					
灯油（ジェット燃料油を除く。）					
軽　　油					
重油	A　重　油				
	B　重　油				
	C　重　油				
	計				
石油製品（石油ガスを除く。）合計					
石　油　ガ　ス		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

備考　１　本表は、外航船又は国際航空路に就航する航空機の用に供する保税輸入品について記録すること。

２　石油ガスの欄のかつこには、液体の容積に換算した数量を単位キロリットルで記録すること。

３　その他は、第１表の１の備考２から４までと同様とすること。